

～人口7,000人のまちの奇跡 好循環をつくり 世界へ発信する～

資料 2 - 1

睦沢町の取組み紹介

～人口7,000人のまちの奇跡～
好循環をつくり 世界へ発信する



千葉県睦沢町 まちづくり課

～人口7,000人のまちの奇跡 好循環をつくり 世界へ発信する～

睦沢町のまちづくり

【人口】 7,068人
(平成30年12月現在)

【面積】 35.59km²

【主要産業】 農業・製造業

都心から電車・車で約1時間



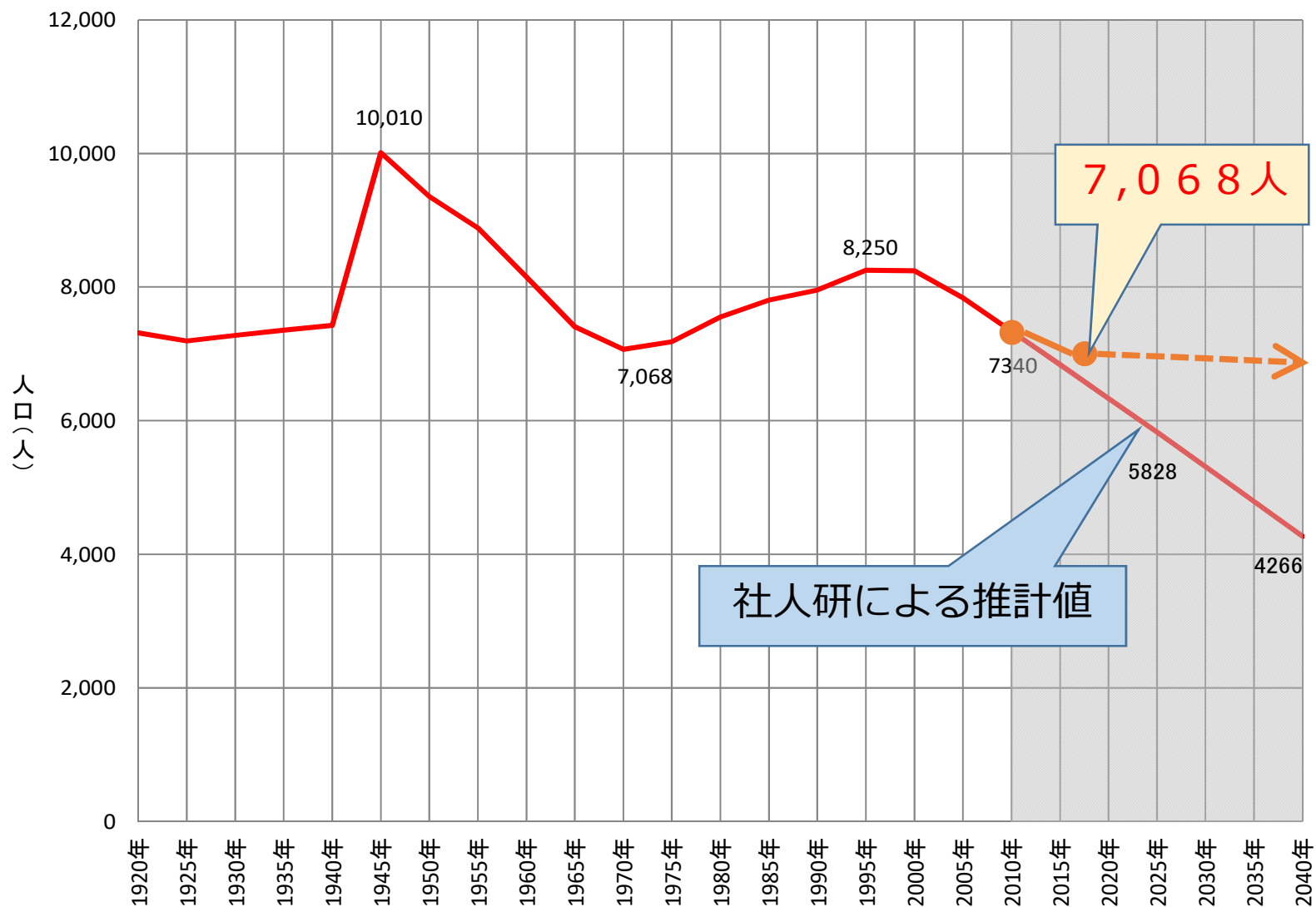
東京オリンピック
サーフィン会場

千葉県
長生郡
睦沢町

むつざわガイド

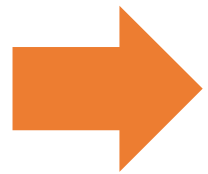


睦沢町の人口推移



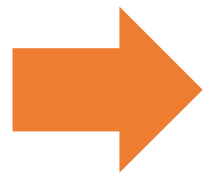
睦沢町のまちづくり

移住・定住を促進する



そのために・・・

- 健康に暮らせる
- 安全・安心に暮らせる
- 子育てがしやすい
- 働く場がある



これらを町だけの努力ではなく、
公民連携で事業を進める

プロジェクト①：若者定住促進事業

リバーサイドタウン（賃貸住宅）



- 若者世帯に向けた賃貸住宅を18戸建築
- 平成25年度に住宅を建築し、平成26年4月から全戸に入居



18世帯63人の人口増加

パークサイドタウン（分譲地）



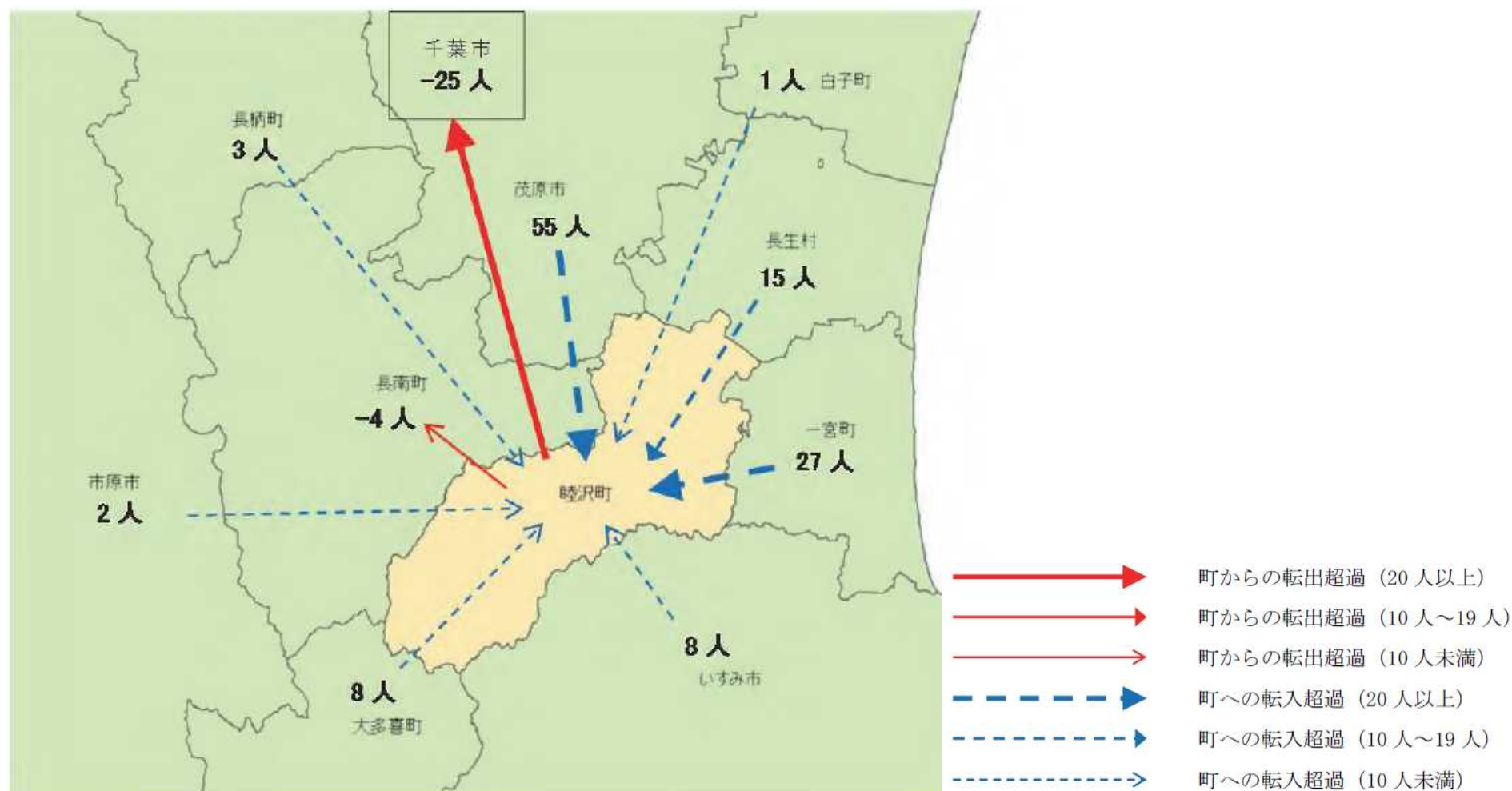
- 若者世帯に向けた分譲地を12区画造成
- 平成27年度に造成が完了し、11区画の分譲が終了



11世帯34人の人口増加

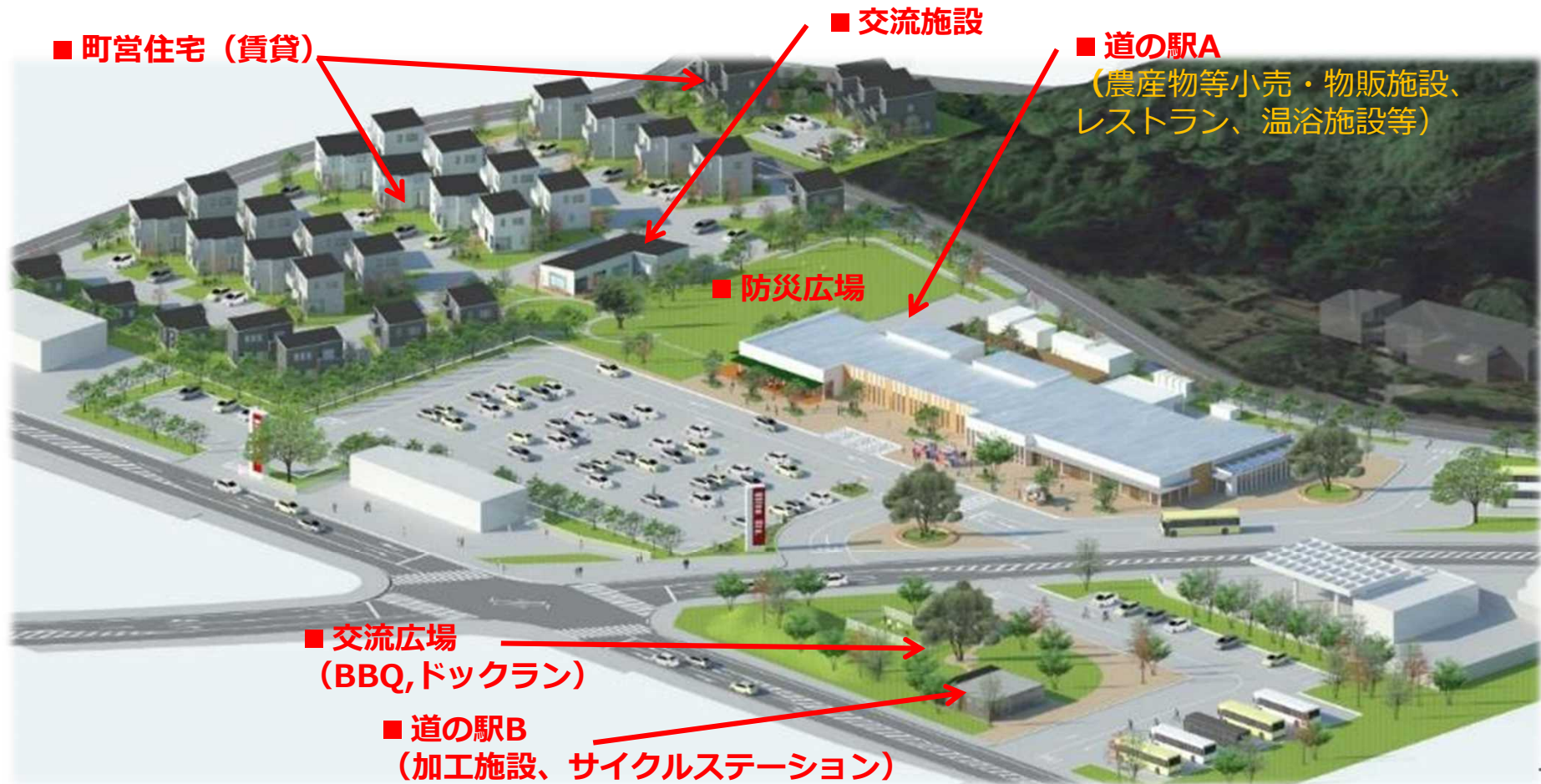
プロジェクト①：若者定住促進事業

施策の成果で人口は流入超過へ



プロジェクト②： むつざわスマートウェルネスタウン事業

- 健康支援型道の駅を掲げ、既存の道の駅の建て替えと町営住宅の整備をPFI事業という公民連携手法を用いて事業化しました。



～人口7,000人のまちの奇跡 好循環をつくり 世界へ発信する～

道の駅エリア (Aゾーン 14,836㎡, Bゾーン約4,810㎡)

- ・ 農産物等直売所、温浴施設、イタリアンレストラン、情報発信施設 等



～人口7,000人のまちの奇跡 好循環をつくり 世界へ発信する～

住宅エリア（約8,990m²）

- 町営住宅 33戸（二階建戸建25戸 平屋建戸建3戸 テラスハウス5戸）
- 交流施設「つどいのハコ」、児童遊園



「健康支援型」道の駅

- 健康増進や介護予防など、心身の健康に関する様々な研究成果による、**エビデンス**を参考にした施設を導入しています。

住宅に関するエビデンス

- ・社会参加の多い地域に暮らすと、本人の参加有無に関わらずIADL低下リスクが抑制 *Fujihara S et al. (2019)*

広場に関するエビデンス

- ・公園近くに住む人は約1.2倍頻繁に運動する *Hanibuchi T et al. (2011)*

温浴施設に関するエビデンス

- ・浴槽入浴の頻度が高いほど要介護認定のリスクが少ない *Yagi A, et al. (2018)*

ブックコーナーに関するエビデンス

- ・1日30分以上の読書で死亡リスクが約20%減少 *Anvi B et al. (2016)*

交流施設に関するエビデンス

- ・交流によりうつを予防できる *J.Misawa & K.Kondo (2018)*
- ・笑わない人は脳卒中リスク1.6倍、心疾患1.2倍増 *Hayashi K et al. (2016)*
- ・週1回以上、趣味やスポーツの会に参加した高齢者はその後11年間の介護費30～50万円低い *Saito M et al. (2019)*
- ・スポーツはグループで行ったほうが良さそう *Kanamori S et al. (2012)*

レストランに関するエビデンス

- ・孤食は死亡リスクを高める *Yukako T et al. (2017)*
- ・一人暮らし男性の孤食はうつになりやすい *Tani Y et al. (2015)*

農産物直売所に関するエビデンス

- ・新鮮な野菜や果物が手に入る施設が近くにあると認知症リスクが低くなる *Tani Y et al. (2019)*
- ・近隣に食料品店が少ないと生鮮食品の摂取少ない *Miwa Y et al. (2019)*
- ・近隣に食料品店が少ないと死亡リスク1.6倍 *Tani Y et al. (2018)*

「防災拠点型」道の駅

- ・ 災害発生時の避難、支援拠点として、重点道の駅に指定

防災広場

- ・ 災害支援用ヘリコプターの発着スペース
- ・ 備蓄倉庫
- ・ かまどベンチ

道の駅の施設

- ・ 一般的な道の駅よりも
トイレ数を多く整備
- ・ お風呂やシャワー等の提供



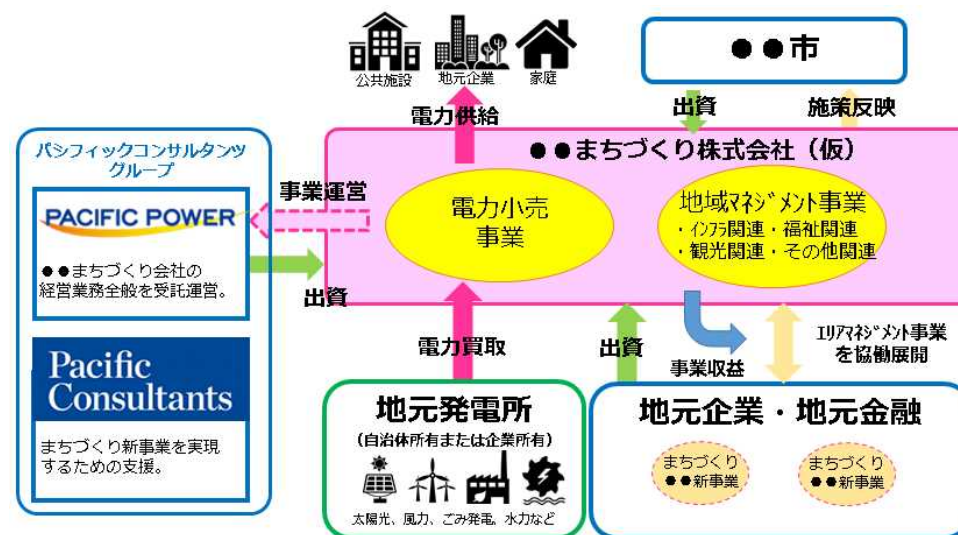
災害時のエネルギー

- ・ 非常時にもガスコジェネおよび自営線によりエネルギー
供給を継続できる自立型エネルギー など

プロジェクト③：CHIBAむつざわエナジー

(自治体P P S事業)

- 名称 株式会社CHIBAむつざわエナジー
- 所在地 千葉県長生郡睦沢町下之郷1650番地1
- 資本金 9,000,000円
(睦沢町、パシフィックパワー、
地元ガス会社、地銀、商工会等が出資)
- 設立年月日 平成28年6月13日
- 事業の実績
平成28年10月 電力供給開始
平成29年3月 家庭向けの電力供給開始
(商工会会員を販売代理店とした営業展開)



プロジェクト④：スポーツツーリズム事業 総合運動公園

- ・ 民間事業者のノウハウを活用し、運営改善のマネジメントを実施
- ・ スポーツツーリズム事業
 - ⇒町外・県外からの**合宿・大会等誘致**プロモーションによる利用者増
 - ⇒**平成30年度実績 参加者 約14,700人（人口2倍以上の町外利用）**
- ・ 健康支援プログラム
 - ⇒町民が健康づくり興味を持つような**プログラムをサポート**
 - ⇒**公園利用者は約5.9万人（H28年度）⇒7.6万人（H30年度）**



- ・ 体育館、柔道場、剣道場：各1面
- ・ テニスコート（人工芝）：4面
- ・ 野球場（総天然芝）：1面
- ・ 多目的広場（天然芝・サッカー）：1面
- ・ プール（屋内）：25m、幼児プール

プロジェクト⑤：スポーツツーリズム事業 Kitみずさわ

- 廃校となった小学校を事業者が合宿施設としてリノベーション
- 総合運動公園の合宿事業の宿泊施設として、令和元年7月より運営スタート
- 地域住民とワークショップを行いながら、町外利用だけでなく、地域の施設としての利用も想定



プロジェクト⑥：先進予防型まちづくり事業

“人”の健康と“地域”の健康の両輪で、住民が健康になればなるほど町も元気になるまちづくりを目指しています。

基本理念

生涯を通じていきいきと

活動できる健康なまち

＜人の健康＞

健康でいきいきと暮らせるまち

＜地域の健康＞

交流や様々な活動が盛んなまち

気づいたら健康になるしくみづくり

「外出」機会を増やす

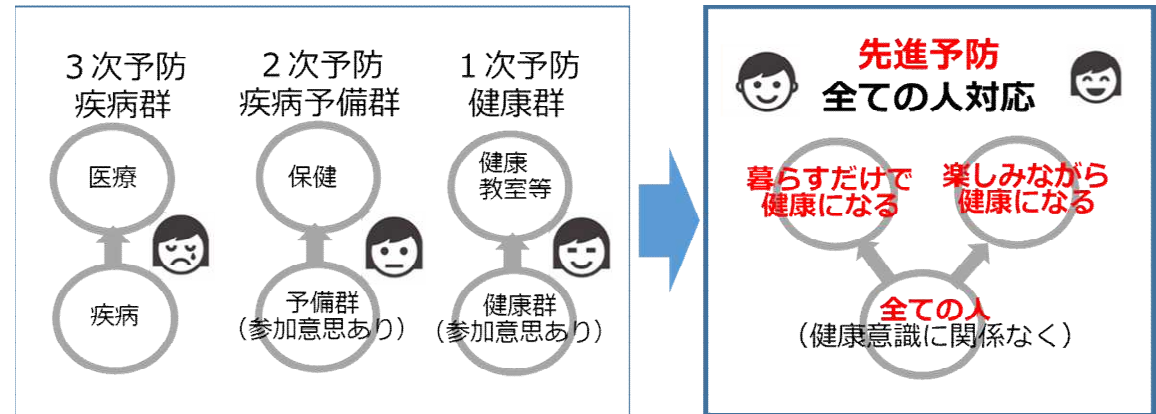
「健康習慣」を促す

「交流」機会を増やす

「主観的健康感」が高まる

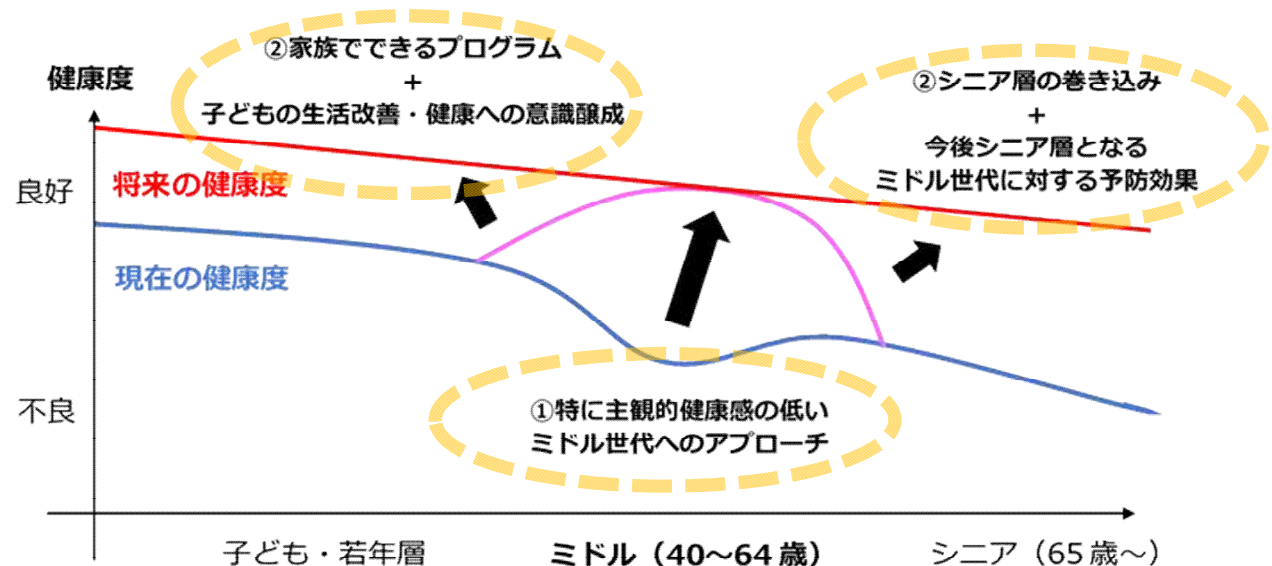
健康を意識せずとも『暮らしているだけで健康になる』こと

- 健康意識に関係なく全ての人を対象ということ
- ハードとソフト両面からの取り組みを基本とすること



まずはミドル世代（40～64歳）を対象に取り組みを開始

- 将来の高齢者世代の健康の底上げ
- 親世代の健康への積極的な取り組みや意識醸成が子どもの生活環境へ良い影響を与えることを期待



【ソフト事業】

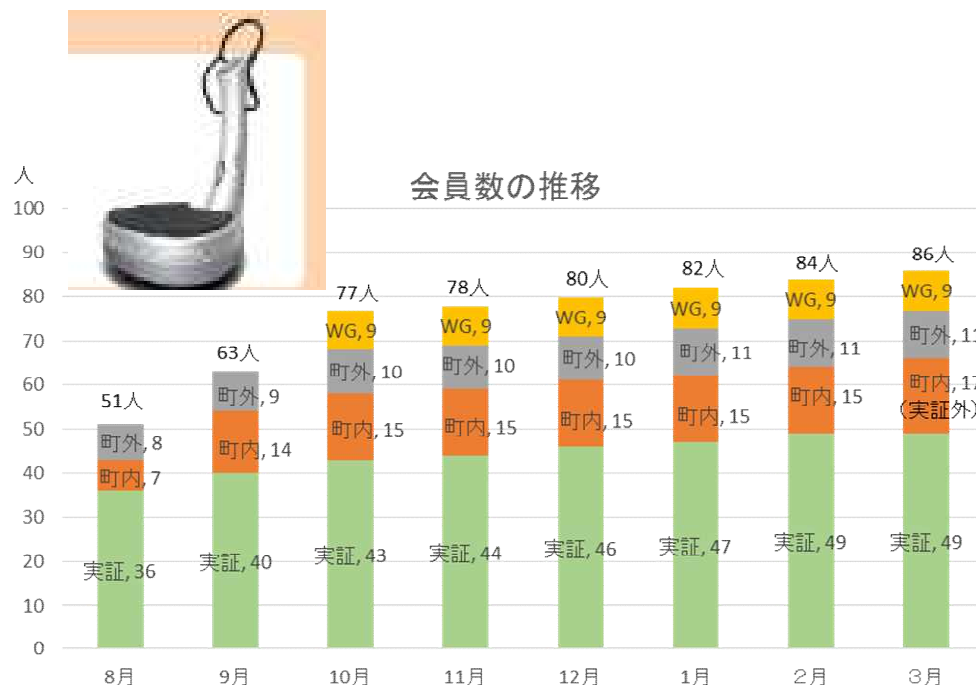
若い世代を取り込む教室型健康支援事業

- 実証事業1年目（2018年度）
パワープレートを利用した健康
プログラムを実施

→延べ1,800人参加

（現在も会員増）

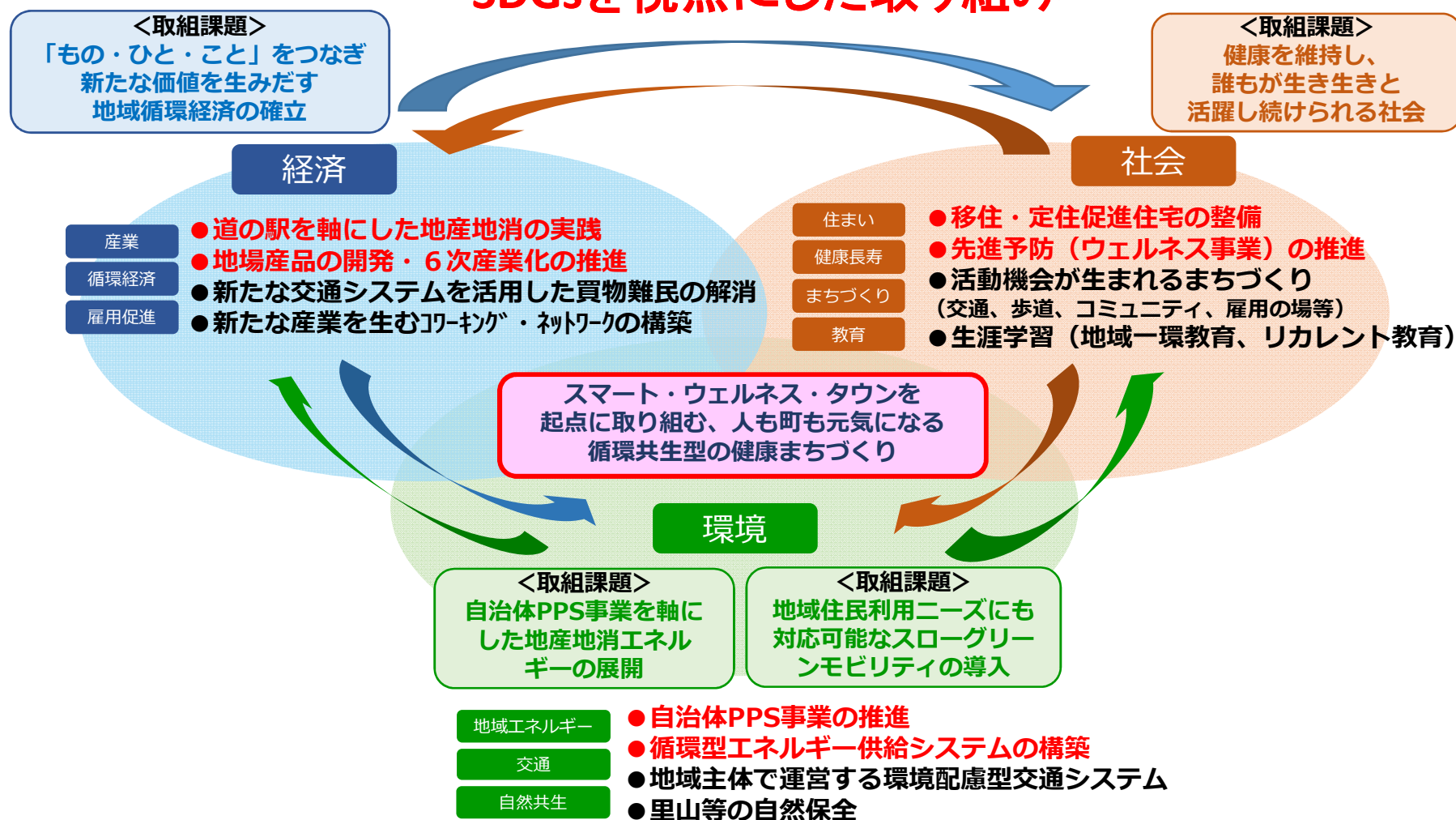
- 2019年度は道の駅も活用し、運
動系だけでなく多様な教室事業や
イベントを開催中



今後の展開

- ・ 今後は、さらなる目標像として『SDGs』を掲げ、これまでの取組みの連携・新たな事業の創出を進めながら、全国、世界へとつなげていくことを目指しています。

SDGsを視点にした取組み



～人口7,000人のまちの奇跡 好循環をつくり 世界へ発信する～

